

**令和7年度第1回千葉県慢性腎臓病(CKD)重症化予防対策部会
議事要旨(R7.7.10 開催)**

**1 千葉県糖尿病性腎症・慢性腎臓病(CKD)重症化予防対策事業
進捗状況と令和7年度の取組について**

- 令和6年度のCKD重症化予防対策に取り組む市町村数は35市町村と増加傾向にあるが、KDBシステムの活用に向けた周知等により市町村への支援を行い、取組市町村の更なる増加を目指す。
- 令和5年度から開始した、千葉県薬剤師会公認CKD協力薬局制度や栄養ケア・ステーションを活用した外来食事指導についても、引き続き取組拡大を行う。

2 地域別の現状分析と取組促進に向けた方策について

- CKD対策協力医は上げ止まりの傾向にあるため、協力医への情報提供や、腎臓専門医・協力医間の紹介及び逆紹介の活発化等、協力医であることのメリットを感じられるような取組を検討していく。
- 協力医や専門医が不在又は少ない地域が取り残されることがないように、地域の現状分析に加え、近隣地域や協力医・専門医以外の医師との連携体制の構築等、アプローチ方法を検討していく。
- 市町村ごとのeGFRや透析導入数等の推移を把握し、それらとCKD対策の取組状況や協力医・専門医の分布等を併せて分析するなど、CKD対策の評価について検討していく。

3 デジタルサイネージ広告を活用した普及啓発について

- 若い世代への普及啓発を図るため、世界腎臓デーに合わせ、令和8年3月にJR千葉駅構内でデジタルサイネージ広告を掲出する。

4 その他

- 部会長を今澤医師から浅沼医師に交代することで了承を得た。
- 千葉県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについては、最終の改訂案がまとまったため、所属での決裁が済み次第関係機関へ通知予定であることを報告した。